



平成30年3月12日

各位

会社名 株式会社稲葉製作所
代表者名 代表取締役社長 稲葉 明
(コード:3421、東証第一部)
問合せ先 上席執行役員経理部長 武田 浩
(TEL. 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年9月13日に公表した平成30年7月期第2四半期連結累計期間業績予想及び通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年7月期第2四半期(累計)の連結業績予想数値の修正(平成29年8月1日～平成30年1月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 連結四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,500	50	155	60	3.42
今回修正予想(B)	14,634	△319	△198	△180	△10.25
増減額(B-A)	△866	△369	△353	△240	
増減率(%)	△5.6	—	—	—	
(参考)前期連結実績	14,826	95	188	103	5.87

2. 平成30年7月期通期(累計)の連結業績予想数値の修正(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,800	500	760	400	22.78
今回修正予想(B)	31,600	10	250	55	3.13
増減額(B-A)	△1,200	△490	△510	△345	
増減率(%)	△3.7	△98.0	△67.1	△86.3	
(参考)前期連結実績	31,548	678	889	571	32.54

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間

第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、売上高及び利益は前回発表予想を下回る見込みであります。鋼製物置事業の売上高は、小型製品及び一般製品の販売低迷により計画を下回り、オフィス家具事業の売上高は、前年同期に大口受注による売上を計上していたことによる反動を補うだけの受注を確保出来なかったことと、OEM先への販売不振が重なったことから計画を下回りました。

利益につきましては、売上高が計画を下回ったことによる利益の減少に加え、材料価格の高騰による材料費の増加、電力価格・燃料価格の高騰によるエネルギー関連費用の増加並びに富岡第2倉庫の稼働に関する追加費用の計上等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも計画を大幅に下回る見込みであります。

(2) 通期

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の業績予想の修正及び材料価格等の一段高が見込まれることから、当初の業績予想を修正するものであります。売上高につきましては、足もとの受注状況や下期の案件情報を踏まえると、鋼製物置事業及びオフィス家具事業いずれも計画を下回る見込みであります。

利益につきましては鋼材価格が上期同様の水準で推移していること、鋼材以外の材料価格や仕入品価格の高騰の影響により、費用が計画以上に増加することが見込まれており、当第2四半期連結累計期間末までの不振を取り戻すことは難しい見通しであります。

以上により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも計画を下回る見込みであります。

なお、期末の配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上